

耳鼻咽喉科学

教授	水越	鐵理
助教授	渡辺	雄樹
講師	大橋	直樹
講師	小林	英人
助手	小田	行夫
助手	吉田	伸
助手	麻生	肇
助手	中川	正嗣
助手	浅井	秀哉
助手	大井	日出夫
助手	将積	博司
助手	稲葉	純一
助手	今村	敏
助手	長崎	孝精
文部技官	武田	

◆ 著 書

- 1) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N., Shojaku H. and Watanabe Y.: Quantitative assessment of visual-vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with well-defined central nervous system lesions. In *The Vestibular System: Neurophysiologic and Clinical Research* By Graham, M.D. and Kamink, J.L. (Ed), 513-521, Raven Press, New York, 1987.
- 2) Watanabe Y., Ino H., Ohi H., Ohashi N., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Clinical evaluation of vestibular-somatosensory interactions using galvanic body sway test. *The Vestibular System: Neurophysiologic and Clinical Research* By Graham M.D. and Kamink J.L. (Ed), 393-399, Raven Press, New York, 1987.
- 3) 水越鉄理, 渡辺行雄: 臨床に用いる前庭平衡機能検査の自動化のプリンシプル. 6. 耳科一般検査法山下公一編, 耳鼻咽喉科頭頸部外科 Mook, 250-257. 金原出版, 1987.
- 4) 青柳充雄, 浅井良三, 水越鉄理他: 耳鼻咽喉科専門医認定試験参考問題集, 211-213, 日耳鼻学会編, 金原出版, 1987.

◆ 原 著

- 1) Ohashi N., Watanabe Y., Imamura J., Takada S. and Mizukoshi K.: An application of the micro-computer as a generator of target movements for the eye tracking test (ETT). *Computer Programs in Biomedicine*, **23**(3), 243-246, 1986.
- 2) 大橋直樹, 長崎孝敏, 安田健二, 渡辺行雄, 水

越鉄理: 総頸動脈と内頸動脈の再建術を施行した喉頭癌症例. 頭頸部腫瘍, **13**: 97, 1986.

- 3) 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 甲状腺軟骨膜より発生したと思われる良性線維性組織球腫の1例. 頭頸部腫瘍 **13**: 168, 1986.
- 4) 長崎孝敏, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 中川 肇: 当科における Voice Prosthesis (低圧型人工喉頭) 使用経験—主に良好な結果を得た症例について. 頭頸部腫瘍 **13**: 296, 1986.
- 5) 中川 肇, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 頭頸部腫瘍に対する Fine Needle Aspiraton の試み. 頭頸部腫瘍 **13**: 365, 1986.
- 6) Mizukoshi K., Shojaku H., Ito M., Watanabe Y., Sekiguchi Ch., Yajima K.: Transdermally administered Scopolamine (Scopoderm-TTS) effect on the vestibular reactions. With special reference to caloric tests and pendular rotation tests. *NISAS '87 Sammaries*, 37-38, 1987.
- 7) Ohashi N., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Prediction in smooth pursuit. *Acta Otolaryngol* (Stockh), **103**: 131-136, 1987.
- 8) Sato T., Ishiguro Ch., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Quantitative analysis of cerebello-vestibular function in congenital hypothyroidism. *Acta Paediatr Jpn* **29**: 121-129, 1987.
- 9) Ohashi N., Asai M., Imamura J., Takeda S., Nakagawa H., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Visual biofeedback on a stablogram. *Medical informatics* **12**, 70, 1987.
- 10) Kobayashi H., Ohashi N., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Clinical features of cisplatin vestibulotoxicity and hearing loss. *ORL (Basel)* **49**: 67-72, 1987.
- 11) Shojaku H., Sato Y., Ikarashi K. and Kawasaki T.: Topographical distribution of Purkinje cells in the uvula and the nodulus projecting to the vestibular nuclei in cats. *Brain Res* **416**: 100-112, 1987.
- 12) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣, 伊東宗治, 安田健二: 視覚系・前庭系相互関係分析の視運動性前庭動眼反射検査システム. 昭和61年度水俣病検診・審査促進に関する調査研究報告書, 107-114, 1987.
- 13) 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 中野雄一, 小出千秋, 斉藤 恒: 新潟県水俣病の神経耳科学的追跡調査. 水俣病に関する総合研究昭和61年度報告書, 63-66, 1987.

- 14) 水越鉄理, 中川 肇, 浅井正嗣, 麻生 伸, 渡辺行雄: 新潟県西頸城地方における顔面神経麻痺の疫学調査. 特発性顔面神経麻痺に関する疫学臨床的研究成果報告書(文部省科研費昭和59, 60, 61年度総合研究(A)), 15-17, 1987.
- 15) 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 浅井正嗣: 顔面神経麻痺患者に対する Blink test の実態と臨床的意識について. 特発性顔面神経麻痺に関する疫学臨床的研究成果報告書(文部省科研費昭和59, 60, 61年度総合研究(A)), 75-77, 1987.
- 16) 水越鉄理: 興味ある症例(ケーススタディ). 小脳橋角部症候群を示した多発性脳神経炎(不全型 Hunt 症候群). *JOHNS*, **3**:1416-1420, 1987.
- 17) 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 伊藤宗治, 安田健二, 神田憲一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 顔面神経麻痺患者に対する Blink Test の実際と臨床的意義について. *耳鼻臨床* **80**:1851-1861, 1987.
- 18) 神田憲一, 大橋直樹, 将積日出夫, 大井秀哉, 浅井正嗣, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい. 平衡障害と自律神経機能障害-RR間隔とシェロンテスト-. *耳鼻臨床* **80**:1801-1806, 1987.
- 19) 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 髄液所見からみた急性末梢性顔面神経麻痺. *Facial N Res Jpn* **7**:147-150, 1987.
- 20) 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 渡辺行雄, 水越鉄理: Blink Test の予後診断的価値について(第2報). *Facial N Jpn* **7**:11-14, 1987.
- 21) 小林英人, 伊藤宗治, 水越鉄理: 最近の急性中耳炎耳漏検出菌に関する1知見. *臨床耳科* **14**:2:150, 1987.
- 22) 吉田行夫, 伊東宗治, 渡辺行雄, 水越鉄理: 急性中耳炎に続発した内耳炎症例. *臨床耳科*, **14**:2:90, 1987.
- 23) 渋谷知子, 麻生 伸, 浅井正嗣, 大井秀哉, 大村明彦, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 興味ある経過をたどった外リンパ瘻の1例. *臨床耳科*, **14**:1:386-387, 1987.
- 24) 長崎孝敏, 麻生 伸, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: 顔面神経麻痺と難聴を伴った大理石病 Osteo petrosis の1症例. *臨床耳科*, **14**:1:386-387, 1987.
- 25) 伊東宗治, 小林英人, 麻生 伸, 将積日出夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 迷路梅毒症例の神経耳科学的検討. *臨床耳科* **14**:2:12, 1987.
- 26) 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 聴神経腫瘍診断における GBST の意義. *臨床耳科*, **14**:2:312, 1987.
- 27) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Smooth pursuit と fixation suppression との関係. *日耳鼻* **90**:1550-1551, 1987.
- 28) 麻生 伸, 上田晋介, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 水越鉄理: 変動する感音難聴の聴覚・平衡機能について. *日耳鼻* **90**:1513, 1987.
- 29) 中川 肇, 大橋直樹, 浅井正嗣, 安田健二, 渡辺行雄: 視運動性眼振に与える instruction, 音, 振動, 言語刺激の影響について. *日耳鼻* **90**:1550, 1987.
- 30) 将積日出夫, 水越鉄理, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 渡辺行雄: メニエール病の発症背景因子に関する疫学的調査研究-地理的社会的因子の意味づけを中心として. *日耳鼻* **90**:1557-1558, 1987.
- 31) 吉田行夫, 麻生 伸, 大井秀哉, 長崎孝敏, 五十嵐良和, 水越鉄理: 耳鳴に対する塩酸プロカインミド(アミサリンK)の効果について. *Audiol Jpn* **30**:439-440, 1987.
- 32) 麻生 伸, 水越鉄理, 渡辺行雄, 吉田行夫, 大井秀哉, 武田精一: グリセロール・テストの判定と静注および経口投与の相違点について. *Audiol Jpn* **30**:635-636, 1987.
- 33) 大井秀哉, 長崎孝敏, 上田晋介, 麻生 伸, 水越鉄理: 血流改善剤の内耳に及ぼす影響について. *Audiol Jpn* **30**:619-620, 1987.
- 34) 上田晋介, 麻生 伸, 五十嵐良和, 水越鉄理: キシロカインによる耳鳴治療. *Audiol Jpn* **30**:437-438, 1987.
- 35) 長崎孝敏, 大井秀哉, 麻生 伸, 水越鉄理: ABR 両側無反応を示した幼小児の聴力について. *Audiol Jpn* **30**:465-466, 1987.
- 36) 五十嵐良和, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 水越鉄理: キシロカインの蝸電図に対する影響. *Audiol Jpn* **30**:527-528, 1987.
- 37) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 聴性誘発反応へのマイコン処理導入の問題点. *Audiol Jpn* **30**:649-650, 1987.
- 38) 中川 肇, 吉田 薫, 田沢 博, 秋山克彦, 小沢常聴, 春木智江, 大橋直樹, 渡辺行雄: 最近経験した重篤な顔面外傷の検討. *耳鼻*, **33**:405-410, 1987.
- 39) 川口 誠, 石沢 伸, 小竹 弥, 斉藤光和, 宗像周二, 中川 肇, 鍛冶友昭, 北川和久, 小泉

- 富美朝：Flow Cytometry による扁桃組織内マクロファージおよび末梢血単球の貪食能の検討。日扁桃誌 26：119-125, 1987.
- 40) 水越鉄理, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 小林英人, 麻生 伸, 中川 肇, 将積日出夫, 上田晋介, 浅井正嗣：メニエール病に対する手術療法の神経耳科学的評価。Equilibrium Res. Suppl 2：130-137, 1987.
- 41) 将積日出夫, 水越鉄理, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 鏡森定信, 成瀬優知：メニエール病発症背景因子に関する疫学的調査研究。ーコミュニティ心理学的アプローチ。Equilibrium Res. Suppl 2：6-9, 1987.
- ◆ 総 説
- 1) 水越鉄理：めまいの外科的療法。Brain Nursing 3：1160-1165, 1987.
- ◆ そ の 他
- 1) 水越鉄理, 将積日出夫, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 鏡森定信, 成瀬優知：メニエール病発症背景因子に関する疫学的調査研究。厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班昭和61年度報告書, 23-24, 1987.
- 2) 水越鉄理, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 小林英人, 麻生 伸, 中川 肇, 将積日出夫, 上田晋介, 浅井正嗣：メニエール病に対する手術的療法の神経耳科的評価について。厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班昭和61年度報告書, 119-120, 1987.
- 3) 水越鉄理：めまいの治療と評価。Medical View points, 8：3-4, 1987.
- 4) 水越鉄理：文春クリニック。西洋医学と漢方第13回めまい。週刊文春, 7月2日, 67, 1987.
- 5) 中川 肇, 伊東宗治, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理：頭頸部領域での穿刺吸引細胞(FNS)。医薬の門, 27：1-2, 1987.
- 6) 浅井正嗣, 大橋直樹, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理：咽頭異常感症を主訴に来院した甲状腺軟骨膜より発生した良性線維性組織球腫症例。医薬の門, 27：8, 1987.
- 7) 長崎孝敏, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理：喉摘, 咽頭摘後のVoice Prosthesisによる音声獲得(主に良好な結果を得た症例について)。医薬の門, 28：20, 1987.
- ◆ 学会発表
- 1) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N. and Watanabe Y.: Visual modulatory influences of vestibulo-ocular reflex (VOR) in patients with vertigo. 14th Barany Society Meeting, 1987, 6, Bologna.
- 2) Ohashi N., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Normal predictive function in smooth pursuit. 14th Barany Society Meeting, 1987, 6, Bologna.
- 3) Ohmura A., Ohashi N., Murakami G., Sasa M., Igarashi T. and Mizukoshi K.: Nasal allergy due to Chironomidae. 6th International Symposium on Infection and Allergy of the Nose and Paranasal Sinuses, 1987, 9, Tokyo.
- 4) Kawaguchi M., Ishizawa S., Odake H., Shimoda F., Nakagawa H., Mizukoshi K. and Koizumi F.: Quantitative study on phagocytosis of human tonsil macrophages by flowcytometric and immunohistochemical methods. International Symposium on Tonsil, 1987, 10, Kyoto.
- 5) Shojaku H., Mizukoshi K., Ito M., Watanabe Y., Sekiguchi Ch. and Yajima K.: Transdermal administered scopolamine (Scopoderm-TTS) effect on the vestibular reactions. With special reference to caloric tests and pendular rotation tests. Nihon University Symposium on Aerospace Science, 1987, 12, Tokyo.
- 6) 水越鉄理：特別講演ーめまいの診断と治療。第42回日耳鼻岩手県地方部会, 1987, 1, 盛岡.
- 7) 水越鉄理：平衡機能検査の現状と今後の問題点。第12回耳鼻咽喉科臨床懇談会(うねび会), 1987, 1, 奈良.
- 8) 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 中野雄一, 小出千秋, 斉藤 恒：新潟水俣病の神経耳科学的追跡調査。水俣病総合研究会, 1987, 2, 東京.
- 9) 水越鉄理, 長崎孝敏, 小林英人, 麻生 伸, 中川 肇, 将積日出夫, 上田晋介, 浅井正嗣：メニエール病に対する手術的療法の神経耳科的評価について。厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班昭和61年度第2回総会, 1987, 2, 京都.
- 10) 将積日出夫, 水越鉄理, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 鏡森定信, 成瀬優知：メニエールの発症背景因子に関するアプローチ。厚生省特定疾患前庭機能異常調査研究班昭和61年度第2回総会, 1987, 2, 京都.
- 11) 安田健二, 大橋直樹, 大村明彦, 水越鉄理：ケトチフェンスプレーの試み。第8回富山免疫アレルギー研究会, 1987, 2, 富山.
- 12) 大橋直樹, 今村純一, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理：周波数分析におけるFFT法とMEM法の比較検討。第3回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1987, 3, 大阪.
- 13) 武田精一：マイコンによる音刺激制御。第3

- 回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 1987, 3, 大阪.
- 14) 水越鉄理:耳鼻咽喉科診療の現状と今後の問題点.一特に聴覚・平衡覚領域を中心に一第6回東西三河耳鼻咽喉科医会合同研修会, 1987, 4, 豊橋.
- 15) 大橋直樹, 上田晋介, 五十嵐良和, 水越鉄理:当科における下咽頭癌の治療.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 16) 吉田行夫, 伊東宗治, 五十嵐良和, 渡辺行雄:急性中耳炎に伴う内耳炎の1例.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 17) 中川 肇, 水越鉄理, 大橋直樹:喉頭異常感症の心理, 性格検査とマイナートランキライザーの効果.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 18) 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理:Sialo-CTの試み(耳下腺腫瘍について).第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 19) 大村明彦, 安田健二, 伊東宗治, 五十嵐良和, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理:頭頸部外傷性めまいの現状と問題点.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 20) 伊東宗治, 将積日出夫, 小林英人, 水越鉄理:メニエール病に対するフロセミド試験の試み.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 21) 安田健二, 小林英人, 水越鉄理:特異な経過を示した Polychondritis の1例.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 22) 五十嵐良和, 上田晋介, 長崎孝敏, 麻生 伸, 吉田行夫:キシロカイン静注による耳鳴治療一長期使用例の検討.第8回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 4, 富山.
- 23) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理:Smooth pursuit と fixation suppression との関係.第88回日耳鼻総会, 1987, 5, 東京.
- 24) 麻生 伸, 上田晋介, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 水越鉄理:変動する感音難聴の聴覚・平衡機能について.第88回日耳鼻総会, 1987, 5, 東京.
- 25) 中川 肇, 大橋直樹, 浅井正嗣, 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理:視運動性眼振に与える instruction, 音, 振動, 言語刺激の影響について.第88回日耳鼻総会, 1987, 5, 東京.
- 26) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 長崎孝敏, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和:メニエール病の発症背景因子に関する疫学的調査研究一地理的社会因子の意味づけを中心として.第88回日耳鼻総会, 1987, 5, 東京.
- 27) 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理:髄液所見からみた急性末梢性顔面神経麻痺・第10回日本顔面神経研究会, 1987, 6, 東京.
- 28) 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 伊東宗治, 安田健二, 五十嵐良和, 渡辺行雄, 水越鉄理:Blink Test の予後診断的価値について(第2報).第10回日本顔面神経研究会, 1987, 6, 東京.
- 29) 長崎孝敏, 大井秀哉, 吉田行夫, 麻生 伸, 水越鉄理:ABR 無反応の幼児難聴例の経過について.日耳鼻北陸地方部会連合会第246回例会, 1987, 6, 金沢.
- 30) 伊東宗治, 将積日出夫, 小林英人, 水越鉄理, 末梢性前庭機能異常例に対する視運動性前庭動眼反射検査の臨床的意義(メニエール病を中心に)日耳鼻北陸地方部会連合会第246回例会, 1987, 6, 金沢.
- 31) 水越鉄理:耳鼻咽喉科から見た小児疾患.富山県小児科懇話会, 1987, 6, 砺波.
- 32) 五十嵐良和, 麻生 伸, 上田晋介, 吉田行夫, 大井秀哉, 長崎孝敏, 水越鉄理:耳鳴に対するキシロカイン静注の効果について.第7回日本オージオロジー学会耳鳴研究会, 1987, 7, 東京.
- 33) 麻生 伸:「耳鳴」ーメニエール病と耳鳴ー.第35回日耳鼻中部地方連合会シンポジウム, 1987, 7, 福井.
- 34) 将積日出夫, 大橋直樹, 五十嵐良和, 伊東宗治, 小林英人, 水越鉄理:スコポラミンの前庭機能に対する影響について.第35回日耳鼻中部地方連合会, 1987, 7, 福井.
- 35) 五十嵐良和, 麻生 伸, 上田晋介, 水越鉄理:キシロカインの蝸電図に対する影響.第35回日耳鼻中部地方連合会, 1987, 7, 福井.
- 36) 大村明彦, 安田健二, 伊東宗治, 五十嵐良和, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理:頭頸部外傷性めまいの現状と問題点.第49回耳鼻咽喉科臨床学会, 1987, 7, 東京.
- 37) 安田健二, 小林英人, 水越鉄理:突発性難聴を初発症状とした Relapsing Polychondritis の症例.第49回耳鼻咽喉科臨床学会, 1987, 7, 東京.
- 38) 水越鉄理:内科医が知っておきたい耳鼻咽喉科領域の疾患.昭和62年度富山県内科医会総会, 1987, 7, 富山.
- 39) 吉田行夫, 大井秀哉, 大橋直樹, 水越鉄理:聴器悪性腫瘍の1例.第6回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1987, 8, 金沢.

- 40) 五十嵐良和, 浅井正嗣, 大橋直樹, 水越鉄理:
悪性リンパ腫併発肺炎にサイトメガロウイルス
high titer γ -Globulin が著効を示した一症例. 第
6 回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1987, 8, 金沢.
- 41) 大橋直樹, 浅井正嗣, 中川 肇, 渡辺行雄,
水越鉄理: 視覚 biofeedback による重心動揺検
査. 日耳鼻北陸地方部会連合会第247回例会, 1987,
9, 金沢.
- 42) 大橋直樹: ユスリカアレルギー, 鼻アレルギー
について. 第41回北陸医学会総会シンポジウム,
1987, 9, 富山.
- 43) 水越鉄理: メニエール病の疫学と臨床. 香川
県めまい研究会, 1987, 9, 高松.
- 44) 麻生 伸, 水越鉄理, 渡辺行雄, 吉田行夫,
大井秀哉, 武田精一: グリセロール・テストの判
定と静注および経口投与の相違点について. 第32
回日本オージオロジー学会, 1987, 10, 大阪.
- 45) 大井秀哉, 長崎孝敏, 上田晋介, 麻生 伸,
水越鉄理: 血流改善剤の内耳に及ぼす影響につい
て. 第32回日本オージオロジー学会, 1987, 10,
大阪.
- 46) 上田晋介, 麻生 伸, 五十嵐良和, 水越鉄理:
キシロカインによる耳鳴治療. 第32日本オージ
オロジー学会, 1987, 10, 大阪.
- 47) 五十嵐良和, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介,
渡辺行雄, 水越鉄理: キシロカインの蝸電図に対
する影響. 第32回日本オージオロジー学会, 1987,
10, 大阪.
- 48) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理:
聴性誘発反応へのマイコン処理導入の問題点. 第
32回日本オージオロジー学会, 1987, 10, 大阪.
- 49) 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 中野雄一,
小出千秋, 猪股茂樹, 齊藤 恒: 新潟県水俣病の
神経耳科学的追跡調査研究. 第46回日本平衡神経
科学会, 1987, 11, 神戸.
- 50) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫,
木下朱美, 水越鉄理: カロリックテストのコン
ピュータ分析. 第46回日本平衡神経科学会, 1978,
11, 神戸.
- 51) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滑動性眼運
動の経時的観察. 第46回日本平衡神経科学会,
1987, 11, 神戸.
- 52) 小林英人, 伊東宗治, 将積日出夫, 大橋直樹,
渡辺行雄, 水越鉄理: 振子様刺激による視運動性
眼振一病的症例の検討. 第46回日本平衡神経科
学会, 1987, 11, 神戸.
- 53) 中川 肇, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹,
浅井正嗣: 高齢者のめまい, 平衡障害(第5報),
脳血管障害の検討. 第46回日本平衡神経科学会,
1987, 11, 神戸.
- 54) 浅井正嗣, 大橋直樹, 小林英人, 渡辺行雄,
水越鉄理: めまい症例の重心動揺検査及び振子様
回転検査による経過観察. 第46回日本平衡神経科
学会, 1987, 11, 神戸.
- 55) 将積日出夫, 大橋直樹, 戸田佐都紀, 渡辺行雄,
水越鉄理, 谷島一嘉, 関口千春: Scopoderm TTS
の前庭機能に対する影響について. 第46回日本平
衡神経科学会, 1987, 11, 神戸.
- 56) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理:
ミニコン・パソコンによる平衡機能検査データ
ベース・システム. 第46回日本平衡神経科学会,
1987, 11, 神戸.
- 57) 大村明彦, 渡辺行雄, 将積日出夫, 伊東宗治,
水越鉄理: 視運動性眼振の視刺激線条と眼振との
対比. 第46回日本平衡神経科学会, 1987, 11, 神
戸.
- 58) 伊東宗治, 将積日出夫, 小林英人, 渡辺行雄,
水越鉄理: 振子様回転検査によるフロセミドテス
ト. 第46回日本平衡神経科学会, 1987, 11, 神戸.
- 59) 神田憲一, 水越鉄理, 佐藤 悠, 川崎 匡:
ネコ小脳片葉の middle zone より解発される水平
性眼球運動の中枢神経機構. 第46回日本平衡神経
科学会, 1987, 11, 神戸.
- 60) 安田健二, 渡辺行雄, 水越鉄理: 小脳橋角部
腫瘍における Galvanic Body Sway Test (GBST)
の診断的意義. 第46回日本平衡神経科学会, 1987,
11, 神戸.
- 61) 戸田佐都紀, 大村明彦, 大橋直樹, 渡辺行雄,
水越鉄理: 中枢性眩暈症例での SPECT の試み.
第46回日本平衡神経科学会, 1987, 11, 神戸.
- 62) 木下朱美, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹,
小林英人, 今村純一, 武田精一: フーリエ解析を
応用した電気性身体動揺検査 (Galvanic Body
Sway Test: GBST) の定量的判定. 第46回日本平
衡神経科学会, 1987, 11, 神戸.
- 63) 石黒千代子, 宮森加甫子, 大橋光伸, 将積日
出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 今村純一: 平衡機能
検査による微細脳機能障害児及び自閉症児の訓練
効果評価の試み. 第46回日本平衡神経科学会,
1987, 11, 神戸.
- 64) 小林英人, 伊東宗治, 水越鉄理: 最近の急性
中耳炎耳漏検出菌に関する1知見. 第15回日本臨
床耳科学会, 1987, 11, 宮崎.
- 65) 吉田行夫, 伊東宗治, 渡辺行雄, 水越鉄理:

急性中耳炎に続発した内耳炎症例。第15回日本臨床耳科学会, 1987, 11, 宮崎。

- 66) 伊東宗治, 小林英人, 麻生 伸, 将積日出夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 迷路梅毒症例の神経耳科学的検討。第15回日本臨床耳科学会, 1987, 11, 宮崎。
- 67) 浅井正嗣, 麻生 伸, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 両側性顔面神経麻痺の1例。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 68) 大井秀哉, 上田晋介, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 小脳橋角部腫瘍のABR。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 69) 稲葉博司, 大橋直樹, 水越鉄理: 左耳下腺に原発した悪性リンパ腫の1例。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 70) 今村純一, 渡辺行雄, 木下朱美, 水越鉄理: フーリエ解析によるGBSTの分析。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 71) 伊東宗治, 小林英人, 渡辺行雄, 麻生 伸, 将積日出夫, 水越鉄理: 迷路梅毒症例の臨床的検討。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 72) 五十嵐良和, 上田晋介, 麻生 伸, 水越鉄理: キシロカインによる耳鳴治療。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 73) 戸田佐都紀, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 中川 肇, 水越鉄理, 小泉富美朝, 諸橋正昭: 扁桃摘が奏効を示したSweet病の1例。第9回日耳鼻富山県地方部会, 1987, 11, 富山。
- 74) 神田憲一, 佐藤 悠, 川崎 匡: ネコ小脳虫部第Ⅸ葉への登上線維投射。第11回神経科学学会集会, 1987, 12, 東京。
- 75) 五十嵐良和, 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 顔面神経麻痺の髄液所見の検討。日耳鼻北陸地部会連合会第248回例会, 1987, 12, 金沢。
- 76) 戸田佐都紀, 将積日出夫, 伊東宗治, 渡辺行雄, 水越鉄理: 抗動揺病薬(スコポラミン)の作用部位に関する平衡機能検査学的検討。日耳鼻北陸地部会連合会第248回例会, 1987, 12, 金沢。
- 77) 渡辺行雄, 安田健二, 水越鉄理: 聴神経腫瘍における後迷路性前庭障害の所見。第25回日耳鼻新潟県地方部会, 1987, 12, 新潟。

◆ その他

- 1) Watanabe Y.: Computer System to analyze caloric test. Uppsala University, 1987, 3, Sweden.
- 2) Watanabe Y.: How to use computer in analysis

of electronystagmograph and body sway test. Gentofte Hospital, University of Copenhagen, 1987, 3, Denmark.

- 3) Watanabe Y.: Computer analysis in routine equilibrium examinations. Clinique Universitaire-d'O.R.L. Hospital Saint Andre, 1987, 4, France.
- 4) Watanabe Y.: Computer system to analyze and stimulating control in routine equilibrium examinations. Univ. of London British Postgraduate Medical Federation, 1987, 4, England.
- 5) Watanabe Y.: Computer analysis of galvanic body sway responses. UCLA School of Med, 1987, 7, U.S.A..

泌 尿 器 科 学

教 授	片 山	喬
助 教	中 田	瑛 浩
講 師	秋 谷	徹 明
講 師	石 川	成
助 手	小 池	宏
助 手	寺 田	為 義
助 手	古 田	秀 勝
助 手	風 間	泰 藏
助 手	笹 川	五十次
助 手	梅 田	慶 一
助 手	酒 本	護 志
助 手	岩 崎	雅 孝
助 手	河 野	昌 史
助 手	奥 村	昌 央
文部技官	近 藤	真 紀

◆ 著 書

- 1) Nakada T., Kazama T., Koike H., Yoshihawa M., Ishikawa S. and Katayama T.: Primary aldosteronism by Trilostane (3 β -hydroxysteroid dehydrogenase inhibitor). In The Year of Urology, by Gilenwater J.G. et al. (ed.), 76-77, Year Book Medical Publishers, Inc., Chicago, London, 1987.
- 2) 片山 喬: 前立腺癌治療の overview. 「泌尿器がん化学療法の進歩と問題点」吉田 修他編, 177-184, 1987.
- 3) 中田瑛浩: 包茎, 嵌頓包茎. 「今月の治療指針」石山俊次他編, 458-459, 医学書院, 1987.

◆ 原 著

- 1) Nakada T., Koike H., Akiya T., Katayama T.: Low level of superoxide dismutase activity in pheochro-